

短歌

はほえみの猪師かこみて統経する

関山堂に蜂のコーラス

領石 唐若 勇

えんどうときゅうり作りて尚今も

こわす惜まるる亡夫の支柱

久礼田 澤村 良

いつはりを信じて安堵する病友を

夫となりし人さすりおり

立田 北村 幸江

時季ごとに咲く風蘭の白き花

兵れし異国の弟を想いぬ

里改田 岡田 桂子

骨片の一つだになき弟よ

復国神社の階に昇る

前浜 沢田千恵子

尾を引きて飛ぶ飛行機にあてもなく

乗りて行きたき果ての果てまで

十市 細川 須磨

千物一尾わからて食べし日もありき

戦後五十年しみじみ思う

植野 中司 愛子



俳句

唯かめぬ小菊の昔や盆の月

浜改田 漢測 保

立秋や蝉の鳴声遠ざかり

高知市 細美じゆき

寺の鐘かすかに聞きて十七夜

岡豊町 葛目 愛子

船海り満杯にして盆休み

日幸 沢村 静

瓜の馬西日に胴を反らしけり

前浜 竹村 福女

不頼ひの花売る妻や盆の市

野田 門田 郁子

山内の風に揺れ咲く寺の蓮

大埴 凡内よし子

天平の佛の里の星涼し

大埴 竹田 明代

梵鐘の余韻に震ふ古代蓮

藤原 橋本きよ女

はろと酔いはろと老いたる白露かな

里改田 山月 ムヨ

二枚舌使っているよ夏鳥

堀之内 北岡 高子

インスタントカレーのみにてむし暑し

片山 大和田昌弘

靖国へ頭の下がる五十年

十市 田所小良子



川柳

月き恋えば思出よせて月にとい

十市 大家寿恵子

九月号に掲載しました小笠原穂子さんの短歌に誤りがありましたのでお詫びします。正しくは次の通りです。

夏木立の轡りに暫し安らげは

轡うがごとく飛びさし胡蝶

市の統計

面積	125.11km ²
人口	48,427人 (+25)
男	23,151人 (+21)
女	25,276人 (+4)
世帯数	18,190戸 (+23)
()内は前月比	
《平成7年8月31日現在》	

火災・救急

(火災)		(救急)	
発生件数	6件	出動回数	137回
建物	5件	急病	67回
山林	0件	交通事故	23回
その他	1件	一般事故	22回
被害額	1,073万円	その他	25回
《平成7年8月分》			

まほろば

南国市は現在健康文化都市づくりに取り組んでいます。「健康文化」とは、今まであまり聞きなれない言葉であったと思いますが、今まで「健康づくり」と言えは疾病予防、病気の早期発見、早期治療という考え方が主なものでした。しかし、「生涯を通じて生き生きと充実した日常生活を送り、その中で自己の価値観を達成することが出来る」とこのような最適な状態を「健康」という新しい健康観が、すなわち「健康文化」なのです。市民がこのような健康を享受できることを基本に据えた都市づくりが「健康文化都市づくり」なのです。健康づくりは難しいように思われますが、具体的には、検診などによる自己管理をはじめ、ウォーキング、ジョギング、エアロビクス、ラジオ体操、太極拳、水泳、最近ブームのダンベル運動など、日常のあらゆることが健康づくりにつながります。各人の趣味を生かしたサークル活動もその一つでしょう。ボランティア活動も盛んです。こうした活動が健康文化都市づくりなのです。気軽に健康づくりができる環境の整備も徐々に進むことでしょうか。さわやかな秋空のもと、自身の健康づくりに向けて一歩を踏み出したいと思えます。(勇さん)

広報は、地区連絡員さんたちのご協力で皆さんの家庭にお届けしています。